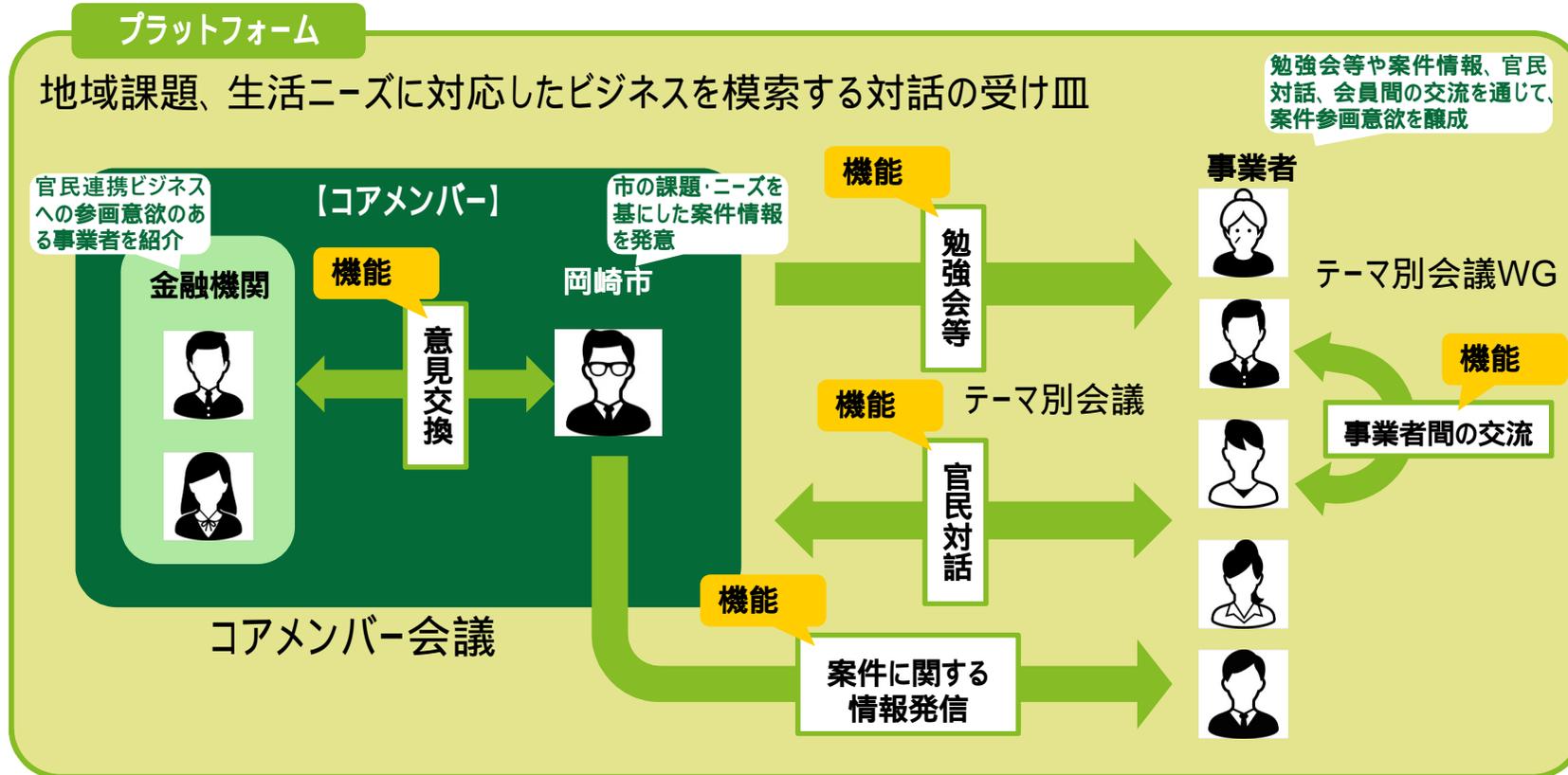


1. プラットフォームのスキーム

地域課題、生活ニーズに対応したビジネスを模索する対話の場として、金融機関や岡崎市、市内の事業者等によるプラットフォームを形成しました。



民間提案募集制度の促進に向けて
必要な取組があれば企画・実施

課題抽出

P F (プラットフォーム) で官民対話した結果のうえ、
「出口戦略」の一つとして制度を整備

民間提案募集制度

民間事業者等が公民連携を目的に提案し、事業を実施できる制度

2 . 岡崎市SDGs公民連携プラットフォーム概要

コアメンバーとして12の金融機関が参加しています。

令和5年度は、6つのテーマについてコアメンバー会議・テーマ別会議を実施しました。

(1) コアメンバー	株式会社 愛知銀行	日本政策金融公庫
	株式会社 大垣共立銀行	株式会社 百五銀行
	岡崎信用金庫	碧海信用金庫
	株式会社 十六銀行	株式会社 みずほ銀行
	株式会社 中京銀行	株式会社 三井住友銀行
	株式会社 名古屋銀行	株式会社 三菱UFJ銀行
(2) 令和5年度開催実績	6月 設立総会	
	7月 コアメンバー会議	令和5年度テーマ選定
	9月 テーマ別会議	(テーマ) 高齢者等に対する身元保障・生活支援・死後事務などに関するサービス提供体制の確立
	11月 コアメンバー会議	
	12月 テーマ別会議	(テーマ) ・市内事業者、住民による太陽光パネル等の設置促進 ・東公園で飲食販売出店者募集 ・旧額田郡公会堂及物産陳列所の活用
	2月 テーマ別会議 コアメンバー会議	(テーマ) 桑谷キャンプ場の利活用 令和6年度テーマ選定